

あなたの声を社会へ 世界へ 組合はあなたがつくれます

都教組八王子支部

都教組八王子支部ニュース No.4 2023/5/25

八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141 Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com



HP



e-mail

5月17日、教員不足について市教委と交渉を行いました。

組 合 「職場のたいへんさが伝わっていないのではないか」

市 教 委 「重大さ・難しさは認識し、努力している。」

当日、組合からは委員長・書記長、市教委からは教職員課長と担当職員二人、指導課統括指導主事の計4名が出席しました。交渉に先立ち、5月2日に文書で年度当初に教員不足でこまっている職場の現状を伝えていました。交渉ではこれを踏まえ、教員配置は都教委の責任であることは前提としつつ、市教委としてできることがどう行われているか質問しました。また、「一人くらい足りなくても今いるメンバーが頑張れば何とかなる」などと受け止められていて、職場の大変さが伝わっていないのではないか、と管理職や行政に対して不信の声があることを、実際に管理職が大変さを過小評価していた実例も示し伝えました。市教委からは、「都教委も心配しているケースがある」「市のホームページで代替職員を募集していて少しだが成果もある」「大学まで出向いて免許所有者を探している」「管理職も、市教委の教職員課・指導課も日々連絡を取り合って懸命に対応しているが、それでも人が足りず苦慮している」との回答がありました。代替職員がみつかったも、都の名簿登載や手続きを経なければならぬので時間がかかること、病気休職者がこれだけ多く出ると想定していなかったこと、など制度上の問題があることも明らかになりました。組合から、今後について、①都に改善を要望すること②今でも無理をしている職場でさらに病欠が出るなどしていっそう深刻化しないよう配慮し、さらなる教員不足が生じることも予想して対応すること ③今後欠時数をカバーするにあたって、児童生徒や教職員に無理が生じないよう柔軟に対応することを求めました。個々のケースのやり取りの後、教職員課長から次のようにまとめの回答がありました。

この先、さらに年度途中の欠員が予想される。次の点で、その重大さ・難しさは認識している。

- ① 教育活動は止めるわけにはいかない。
- ② 教職員の仕事は専門性が高く、簡単に代わりが見つからない。
- ③ 多忙化で心身を病むケースが増えている。
- ④ 産育休の制度が充実し社会の理解も進んでいるが、代替者の準備がたりない。

以上を踏まえて対応したい。

組合から日常から人員配置にはゆとりが必要、「ぎりぎりの職員でも、なんとか回っているからいい」としては病休者が出た時の必ず無理が出ることを指摘し、対応を重ねて要望して終わりました。困っている事例は組合に情報をお寄せください。市教委に伝え対応を求めます。根本的には国の教育予算の貧困が原因なのは言うまでもありません。都と国の教育予算を大幅に増やすことが必要です。その為にも、現在取り組んでいる3つ署名をさらに進めていきましょう。

えがお署名（国・都宛）・特別支援学級の編成基準の改善を求める要請署名

人権上の問題が国内外から指摘され、2年前廃案となった入管法改正案が、ほぼ同じ内容で国会に提出され、審議されています。

みなさんの学校にも、日本以外にルーツを持つ子がいます。その子の保護者は「不法滞在だから働くことは許されないし、社会保障も受けられない」としたら。違反したら裁判もなしに閉じ込められているとしたら。これが今の入管行政です。そして、さらに「帰国したら死刑にされるとしても、かまわず強制送還する」というのが、今審議中の「入管難民法改正案」です。審議の過程で、収容中に死亡した方を「法を犯した」「詐病」「支援者が追い詰めた」など偏見に満ちた発言が問題になっています。参院で審議中の入管法改正案に反対するデモが21日、東京・渋谷でありました。(右写真) 政府は不法滞在中の外国人が入管施設で長期収容されている問題の解消を図っているが、改正案は難民認定申請者の強制送還を進めるものだと反対している参加者は「難民をいじめる入管はいらない」と声を上げた。今後の審議に注目し、発言していきましょう。



もっと知ろう! 活用しよう! 組合の銀行 労働金庫

短期連載3最終

ローンは使わないとしたら、計画的な預金が必要です。また、住宅は、「頭金」を預金で、残りをローンで、と組み合わせるのも上手な方法です。財形貯蓄なら、申し込み手続きをすれば、毎月定期的に掛け金が「天引き」されます。また、預金の利子はわずかでも課税されますが、「住宅財形」(住宅購入のほか、リフォーム、増改築でも)は550万円までは「非課税」です。手続きは勤務先で簡単にできます。他の金融機関でも「財形貯蓄」はありますが、労金の口座は引き出し・振り込みの手数料でもお得です。全国の〈ろうきん〉ATM・CDはもちろん、MICSマークのある都銀・地銀・信用金庫などの金融機関や、ゆうちょ銀行、セブン銀行、イオン銀行、コンビニなどのATMで利用可能で、引出し時のATM・CDの利用手数料が即時に全額、月に何回利用してもキャッシュバックされます。給与振り込みを労金の口座にするとインターネットバンキングでの振込手数料も、月3回までキャッシュバックされます。組合に加入し、〈ろうきん〉の口座をメインバンクとして利用すると、このように様々なメリットがあります。労働金庫は、営利目的の企業とは違い、労働組合・生活協同組合などの働く仲間が助け合いのために作った、福祉金融機関だからです。

直接のご質問・ご相談は
中央労金八王子支店
電話 042-642-4141
ファックス 042-646-6204

都教組八王子支部 2023年度の支部大会に参加しよう!

・日時 6月7日(水) 18時～19時半 ・場所 由井市民センターみなみ野分館

組合だから「交渉権」がある

昨年度は「全小中学校体育館にエアコン設置」「異動について」「パワハラ関係」「教育予算について」など市教委要請を行いました。今年度当初から全市的に欠員問題で困難な状況の分会があります。すでに市への要請を行いました。今後も本部と連携しながら継続して要請していきます。

※職場の困難な状況を支部役員が直接市教委へ伝えて改善を要求します。分会の様子を支部へ知らせてください。

働き方の改善において

◎「八王子市労働安全衛生委員会」で働く側の代表として意見をあげます。

◎ハラスメント相談

支部役員が対応について相談を受けています。詳しくお話を聞かせてください。

支部：TEL(623)1141 平日 14時～18時

異動の相談

育児・介護 遠距離 自身の病気 新採初異動など、事情のある方は自己申告書を出す前に組合に相談を! 自己申告書の書き方などもご相談ください。

権利の相談

育児・介護・自身の病気など、組合の先輩方が勝ち取ってきた権利を有効に活用するために組合にも相談を! (知らない管理職が増えています)

本当に知りたい・深めたいことを研究する場づくり

◎ミニ実践講座「つながろう八王子」を学期に2～3回開催予定
◎学習会の開催 ◎サークルとの連携した学習会を開催予定